

令和7年度 労災保険請求実務講演会 次第

日時 令和7年11月19日(水) 14時～
会場 東京都医師会館 2階「講堂」
主催 東京労働保険医療協会
後援 公益社団法人 東京都医師会

(開場 13:30)

14:00 開会 東京労働保険医療協会
司会 理事 饗庭 三代治

14:00～14:05 挨拶 東京労働保険医療協会
会長 尾崎 治夫

14:05～14:50 講演Ⅰ (質疑応答含む)

労災保険の診療及び審査について

(取得単位：日本医師会生涯教育制度 0.5 単位 (CC:6 [医療制度と法律]))
東京労働局 労働基準部 労災補償課
労災医療監察官 時岡 恒二

労災診療費請求に関して審査事前点検時や、審査会での不備確認・査定が多い項目について説明を行なう。監察官の立場から診療費請求時に医療機関に確認してほしい点や、医療機関が疑問を持ちやすい“労災請求事務についてのよくある問い合わせ”についても併せて解説する。

14:50～15:00 休憩

15:00～16:30 講演Ⅱ (質疑応答含む)

労災診療費の請求上の留意点について

(取得単位：日本医師会生涯教育制度 1.5 単位 (CC:6 [医療制度と法律]))
東京労働保険医療協会
監事 子田 純夫

労災診療費には独自の算定基準が設けられ、労災診療の特殊性や傷病の複雑さを加味した多くの独自項目(初診料、再診料、四肢加算等)が存在する。
今回は請求事務を行なう上での留意点について、実際の請求事例を参考に、算定忘れや誤りの多い項目を中心に説明を行なう。

16:30 閉会